

★☆☆ポイント☆☆★

◆◇◆特集◆◇◆

東名高速道路牧之原地区地震災害の対応について

(中日本高速道路株式会社 東京支社)

今年8月11日午前5時7分頃発生した駿河湾を震源とする地震により、東名高速道路牧之原SA(サービスエリア)付近の盛土のり面が崩落した。本文は、地震災害の発生から応急復旧を完了するまでの経緯と、崩壊の原因の究明、本復旧対策工の検討、また類似箇所抽出とその対策について検討するために設置された「東名高速道路牧之原地区地震災害検討委員会」での検討結果について報告するものである。

◆◇◆訴訟事例紹介◆◇◆

普通貨物トラックの無線機アンテナが街路樹の枝に衝突し

破損した事故について、道路管理瑕疵が争われた事例

<平成21年1月23日 札幌地裁判決>

【事案の概要】

夜間、道路上の高さ3.6mまで垂れ下がっていた街路樹の枝に車載の無線機アンテナが衝突し、無線機及びアンテナが破損した。

本件事故は、不適切な街路樹の管理によるものであるとして、道路管理者に対し修理費等の賠償を請求。

【判決要旨(一部認容)】

本件事故は、街路樹の枝が車道の建築限界の高さ4.5mを下回っていたため発生したものと認められ、本件道路は、通常有すべき安全性を欠き、瑕疵が存在したというべき。また、街灯が少なく、車両の運転者が前方を注視していたとしても、街路樹の枝との衝突を予見し、回避することができたとは認め難い。

◆◇◆TOPICS◆◇◆

ITを活用した効率的・効果的な除排雪に関する

社会実験の取り組みについて

(NPO法人青森ITSクラブ)

青森市は、行政区域全域が特別豪雪地帯に指定されており、都市づくりを進めていく上で、雪対策が重要な課題となっている。そこで、除排雪作業の効率化とサービス水準の向上を図り、市民の除排雪に対する満足度を向上させることを目的として、国土交通省の社会実験に採択された取り組みを紹介する。

◆◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇◆

★交通事故対策の効果検証における取組みについて

～交通挙動調査による効果把握～★

(内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 交通対策課)

南部国道事務所では、交通事故対策実施後の効果検証を行うにあたり、新たな取組みとして、交通事故発生要因となる自動車の動き、“交通挙動”に着目し、対策前後の交通挙動の変化から見える対策効果の検証を行いました。

本稿では、平成20年度の取組みについて紹介します。

★斜面防災のための新しい管理方法を考える★

(福井県土木部道路保全課/福井県雪対策・建設技術研究所

/ (財) 福井県建設技術公社/福井大学/福井県建設コンサルタツツ協会)

福井県では、道路斜面の脆弱化や斜面防災構造物の老朽化が進む中、落石や斜面崩壊などによる災害・事故に対する未然防止を更に推し進めるため、「斜面防災のための新しい管理方法」の確立を目指し、産学官が連携して共同研究を実施しています。

本稿では、その取組みについて、ご紹介します。

★歴史を感じる道づくり・まちづくり

—日本風景街道「若狭熊川・鯖街道」★(福井県 若狭町 文化財室)

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている福井県若狭町の熊川宿。平成19年には国土交通省の日本風景街道に登録されました。歴史や町並みを活かしながら、いかに快適に暮らし続けるかをテーマに展開されているまちづくりの事例を紹介します。

編集後記

毎日、通勤電車に乗っていると、本当に色々な人がいます。

色々な世代が同じ電車に乗っているという光景はある意味とても興味深く、会社員や学生、子供、お年寄りと・・・・・・共通点が全くない者同士が同じ空間にいるので様々な出来事を目にすることができると思います。

携帯電話を触っている人・ゲームをしている人・睡眠をとっている人・・・・・・

席に座っている人1列全員が携帯電話を触っているという現代ならではの光景も珍しい事ではないと思います。

そんな中でふと思う「席を譲る」という行為。日本も高齢化社会を懸念されていますが、高齢化ではなく既に高齢社会といっても過言ではないと思います。満員電車の中にはお年寄りが沢山乗られています。

電車の中でお年寄りに席を譲る という行為は実は判断が難しかったりします。

ご本人にとってみれば自分はそれほど老いてないと思っても、若い世代から見れば席を譲る対象だったりするからです。席を譲られる方も若い世代の善意をむげにするのではなく、快く受け入れられる心のゆとりが必要かもしれません。

そして、若い世代の善意ある方々も、「失礼にあたると思うと譲れない」のではなく、失礼だな！と怒られたとしても自分の行動には誇りを持つべきだと思うのです。

仕事で疲れが貯まっていたとしても、お年寄りの体は想像以上に体力がなくなっていたりします。

高校生の頃、保健体育の授業でお年寄りになったつもりで行動する。というものがありました。重たい錘を体に身につけ、ひざやひじにはテーピングをして一定の距離を歩いて見ます。想像以上に身動きがとれない状態になり、高校生だった私にとってその経験はとても意味のあるものになりました。

若い世代や働き盛りの大人達が積極的に善意ある行動をして、子供達にお手本を示す事はとても大切なことではないでしょうか。

先日、私が電車に乗っていると、向かいの席に座っていた40代と思われる女性が60代と思われる女性に席を譲っていました。その近くに居た中学生ぐらいの子供がその様子を見つめるのを見て私は思いました。

子供達は想像以上に大人達の行動をよく見えています。

今の子供達の世界は、インターネットの普及等により昔に比べるとはるかに多くの情報にさらされています。しかし、画面の中や遠い外国の映像よりも身近にいる大人の行動こそが子供達に大きな影響を与えるものだと思います。

子供達が犯罪に巻き込まれたり、凶悪な事件が起きたりするとすぐに時代などのせいにされがちですが、何かのせいにするのではなく、私たち大人自身が子供達のお手本になることが大切だと思います。(K)